

自然な暮らしの、おすそわけ。

2024.1 #47



ペーパーレスへ
web版、配信中。



▷ふんわりすと|espoir forêt 小齋聖佳さん ▷サステイナライフ森の家|住まい手インタビュー
▷しんりん|木の募金箱 ▷鳴子温泉もりたびの会|会員探訪記

ふんわりすと

それぞれの場所で輝きながら、
ずっと立っている人に、会いにいきました。
「わたしは、こっち。」
さて、あなたは？



facebook



HP

宮城県名取市関上

えずばわーるふおれ

espoir forêr

小齋聖佳さん

Kosai Seika



私だからこそ歌える歌を、大好きな関上から。

名取市関上を拠点に活動する声楽家・小齋聖佳さん。フランス語で「希望の杜」を意味する「espoir forêr（エスポワール・フォレ）」という演奏団体の代表として活動しています。小齋さんは名取市関上出身。2011年の東日本大震災では津波によって自宅が流され、その後の数年間は生きるだけで必死の生活を経験しました。震災から3年経った2014年、「演奏会をやってみたら？」という周りの声に後押しされ、とにかく今までの恩返しをしたいという気持ちで初めての演奏会を開催。団体名はその時に練習場所を借りやすくなる、くらいの気持ちでつけたものだそう。

「音楽家だから、恩返しできるのは音楽しかない。でも、音楽が何になるのか、物理的に何かをできるわけでもない、泣いてくれる人はいるけれど、だからって現実を変えられるわけじゃない。そこにどんな意味があるのか。」

今年、espoir forêrの活動は10周年を迎えます。現在のメンバーは9名。歌だけではなく、ピアノ、ヴァイオリンなど様々な楽器を担当するメンバーがいます。この10年間、メンバーそれぞれ色々なものを抱えながらもespoir forêrに対する思いが育ち、中には「おばあちゃんになるまで続ける」と決めているメンバーもいるとか。これからも故郷のために、震災の前後を知っている人として「復興」という言葉にとらわれずに活動していきたいという小齋さん。

「震災はあったけれど、新しい関上がもう始まっている。変わらないのは私が関上を好きだということ。関上が好きなのは自分が、悲しみを抱えた街であるということ。思っ

て音楽を届けたい、多くの人にそれを感じてもらうことができる。それができるのは自分たちだけ。」
被災した自分たちだからこそ歌える歌がある、と語る小齋さんの歌声は、ふんわりとした柔らかさの真ん中に、しっかりとした芯の強さを持って私たちの心に響いてきます。

震災以降、初めての演奏会までずっと考え続けてきた「音楽をすること」の意味。しかし、実際の演奏会では、会場の反応がエネルギーとして伝わってきて「本気の想いを込めて歌った歌は、必ず相手の心に届く、そこに音楽をする意味があるのではないか」と実感したそう。



自然な暮らしの、 おすそわけ。

Cover Story

閑上のどこが好きかと聞かれたら「閑上の空気が自分にあう」と答えるという小齋さん。

閑上の話題になると自然と輝きだす表情が印象的で、今回の表紙にも使わせていただきました。

見つめるのはもちろん、大好きな街とその未来。これから先、おばあちゃんになっても、柔らかな歌声を聞かせてほしいです。



ふんわりすと	
espoir forêt 小齋聖佳さん	2
サステナライフ森の家	
住まい手インタビュー Special 「自然のささやきを奏でる家」	4
NPO法人しんりん	
木の募金箱	5
イベント	
funwari events info	5
キッズシェフの親子で料理楽しもう!	
グラノーラクッキー	6
連載	
ZERO WASTE is Creative! No.3	7
鳴子温泉もりたびの会	
会員探訪記 (有)千田清掃	8
KURIMOKU	
木製品の制作現場より	9
連載	
木の図鑑 「アカマツ」	10
ウェスタ	
火のある暮らし	11
社会福祉法人鳴子こども園	
鳴子こども園と申します。薪がとりもつ「縁」	11
About Us	
キーワードはふんわり。	12
プレゼントコーナー	
コースター&ブローチ／ブロックメモ	12

編集長の ひまりのこぼれ

1月1日に令和6年能登半島地震、2日に飛行機事故、3日に北九州で火災、被災者の皆様お見舞い申し上げます。

今年の冬は暖かいですね。「ふんわり」は、念願叶って、新刊とすべてのバックナンバーを表紙のQRコードから見て頂けるようになりました。

フリーペーパーは、ゴミになりやすい媒体です。読者の皆様が保存して置きたくなる内容を意識して作成してきました。でも、ゴミは出てしまします。一歩踏み出し、データ版の配布で発行部数を減らしていきたいと思っています。

あと、心を込めて作ってきた「ふんわり」のバックナンバーを見て頂ける場所が出来たことが、とても嬉しいですね。

編集長 富張

No staples.

ホチキスを使わずに。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけどちょっとやさしい。どうかご理解ください。



住まい手
インタビュー
Special

S

自然のささやきを
奏でる家

FOOD FOR JOY 12 イベントレポート



Food For Joyは、「良い音楽も料理も、魂を満たす『喜びの食べ物』。心と体のよい栄養になるひとときを」という願いのもとに生まれました。毎回吟味された企画内容と、かわいいプログラムも鈴木様のお手製。

HP



youtube



今から2年前、弊社にて柴田郡川崎町に住まいを新築し、活動拠点を関東から宮城に移されたピアノリストの鈴木美奈子様。今回は、鈴木様のご自宅兼音楽教室『杜音』で開催されたホームコンサート『Food For Joy 12』にお伺いしてきました。

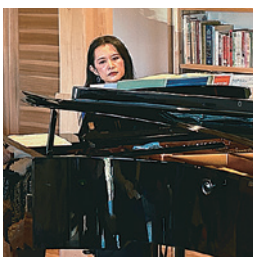
Food For Joyは、様々な国のピアノ音楽とその曲にまつわるお話を、鈴木様の手料理とともに愉しむホームコンサート。その満足度の高さから複数回参加されている方も多く、2023年1月から毎月開催されてきたイベントの最終回であった今回は、定員（20名）を大幅に上回る27名の方が参加されました。

シベリウスの『もみの木』から始まり、チャイコフスキー、坂本龍一など、今回は7名の作曲家の8作品をセレクト。季節に沿った選曲で来場者を楽しませます。演奏の素敵さはもちろんのこと、曲の合間に入ってお話もまた楽しみのひとつ。曲の生まれた背景や宗教の話、音楽家としての曲の解釈、時には裏話など、色々な引き出しから楽しいお話が次々繰り出されるので、参加者は目がキラキラ。会場は終始笑顔で満たされました。

Food For Joyシリーズは今回で完結ですが、来年はまた新しい企画を構想中だそうです。大人向けの音楽講座の開催や、色々な場所へ演奏しに出かける機会ももっと増やしていきたいとのこと。ピアノを通じて人と人を結び場を作っていきたいと語る鈴木様。あなたの町にもお呼びしてみませんか？きっと極上な『場』を提供してくださること間違いなしです！

左) 人数が多くてピアノの響きには抜群。無垢の木や漆喰の自然素材とピアノは、とても相性がいいそうです◎

右) 今回は手作りのジンジャークッキー・柚子のディアマントクッキーと、先日鈴木様がインドへ行った際に購入したカルダモンティーが振舞われました。



木の募金箱

全国のセブンイレブンのレジ横に置いてある募金箱。みなさん注目して見たことはありますか？

最近はキャッシュレス決済が進んで、現金を持ち歩くことが少なくなったことから、募金箱にお金を入れる機会も減り、あまり注目したことがない方も多いかもしれません。

でも実は、あの募金箱、すべて私たちが伐った木から作られているって知ってましたか？

募金箱には「セブンの森の間伐材を使い、宮城県内で加工しています」と書かれています。

その間伐材を伐り出しているのが、私たちです。

私たちは100年続く森づくりを目指して、弱っている木や、他の木の育成を邪魔してしまう木などを間伐しています。弱っている木は家をつくる柱としては使えないものも多いので、それらの木がああの募金箱になっているのです。

宮城県内で見ると案外何も思わない「宮城県内で加工」の文字ですが、実は全国一律でこの表記。北海道でも、東京でも、九州でも、募金箱に使われているのは私たちが間伐した木です。

間伐材はチップにするくらいしか価値がないと思われていることもあります。最近はいろいろなところで間伐材を活用した製品を見ることが増えてきました。木の募金箱もその代表的な例です。

是非、店舗に立ち寄った際はレジ横にある募金箱に目をとめてみてくださいね♪



組み立てる時も金属は使っていないません。役目を終えたものは、また宮城に戻ってきて最終的に燃料になります。



N

funwari events info

エスボワール・フォレが歌う
懐かしのメロディー

2/25日 14:00

場所：相互台公民館ホール（名取市相互台1-10-3）

ふんわりすと小斎聖佳さんが主宰するエスボワール・フォレが出演予定。古き良き昭和の名曲を温かな歌声でお届けします。入場無料、要整理券。TEL 022-384-8900



サスティナライフ森の家《予約制》
『暮らしをつむぐ家』完成見学会
3/16土・17日（予定）

場所：仙台市太白区。ご家族の趣味や生活スタイルに合わせて使いやすさを最優先に考えた、家事導線もシンプルにまとめた住まいです。詳細はHPにてご確認ください。

chef TAIHEI
& MICHI mama

recipe: 3

キッズシェフの

親子でお料理
楽しもう!

サクサクで
美味しいよ〜♪

グラノーラ
クッキー

- 1 泡だて器でバターを混ぜ、きび糖を加え白くなるまで混ぜる
- 2 卵を加えてさらに混ぜる
- 3 小麦粉をゴムベラで切るように混ぜ、ある程度混ざったら、グラノーラも加えて混ぜる
- 4 天板にクッキングシートを敷き、3.のクッキーの種をスプーンで好きなように落として並べる
- 5 オーブンを180℃で予熱し、175℃で20分焼く



材料 (オーブン天板1枚で焼ける量)

- ・バター 70g
- (室温またはレンジで20秒ほどチンして柔らかくしておく)
- ・きび糖 25g
- ・卵 1個
- ・小麦粉 100g
- ・グラノーラ 100g

僕は牛乳と一緒に食べるのが好き。
お母さんにはコーヒーを
淹れてあげました。

お料理大好き的小学3年生の男の子が、親子で簡単においしく作れるメニューをいろいろ考案するコーナー。
今回は、グラノーラをたっぷり入れたクッキー。混ぜるグラノーラの種類で、味も食感も変わるので、いろいろ試しても楽しいですよ。

ZERO WASTE is Creative!



「捨てない」「買わない」を実践する姉妹のネタをご紹介します。

ゼロウェイストは、ただ単にゴミが出ないというだけではなく、使い捨てをやめ長く大事に

物を使うことで不必要にお金を使わない、快適プラスお得な暮らしということを少しでもお伝えできていればいいと思います。

そしてもう一つ、ゴミを減らすためのキーワード「断る」「refuse」という考え。

ゼロウェイスト生活のステップとしては第一歩目とされていますが、これが意外と難しい。自分の意志とは裏腹に発生するゴミ、結構あるのではないのでしょうか。

使い捨ておしぼり、ポリ袋、野菜のパッケージ(きゅうり1本、人参1本でも包まれているのにはびっくり)、書類を挟むクリアファイルなど…いまやサービスとして定着しているこれらの品々もrefuseし難いゴミに分類されるかと。

しかしそれは清潔好きで相手をおもんばかという国民性や善意がゆえ。特に使い捨ておしぼりは日本以外ではほぼ出てこないそう。

その清潔好きから生じる善意こそがrefuseを難しくする要因だったりします。なのでその善意はありがたく受け取り、ただ単に「断る」のではなく、上手に回避する方法を日々模索中です。例えば、スーパーでお肉やお魚を買うとレジの店員さんが入れてくれ

るあの薄いポリ袋。

善意はありがたく受け取りますが、家に帰ればあつという間にゴミですので断ります。しかし事前に断り忘れ、うっかり目を離した隙に入れられているなんてことも少なくありません。それにしても、なんとという鮮やかなポリ袋さばき!それはもう一瞬の出来事でした。

そんなスーパーの店員さんたちとのポリ袋をめぐる攻防、私はついに秘策を思いつきました。(セルフレジに並べば済む話ではありますが)ベテランになればなるほど、相手を気遣うサービス精神の余裕が出てくるためだと分析、できるだけ新人さんのレジに並ぶ。時間がかかっても、食パンの上にキャベツを載せられたってかまやしない。店員さんがポリ袋に手を伸ばす瞬間を逃すまいと血眼で手元を見つめる私。

ポリ袋さばきの熟練度もベテランさんほどではないので、こちらの意思を伝える時間もあります。そして「ゴミを減らしたい」を連呼してそういうお客がいるということを知ってもらいます。ポリ袋も、使い捨ておしぼりも、使うことが清潔な行為に思えるかもしれませんが、それが自然界に流れ出て何百年も環境を汚しつつ、そして食物連鎖や海水の循環によって私たちの口に入っているとわられています。

さてさて、買い物を終え「ああ、今日は仕事した(ノーポリ袋で買いものできた)わ～」と達成感で帰宅し家のポストを開けると…そこに現われるはチラシの束…

refuseの秘策を練る日々は続くのであります。

ゆむら商店を営む姉妹のゼロウェイストコラム。今回は湯村香子さん。ゴミを極力出さない、量り売り、0から1、2、3、少しずつ生活に取り入れられるアイデアを教えてください。

No.3



▷おしぼりを繰り返し使えるシリコン製ポリチに入れた使い捨てないおしぼりセット
◁買い物時のお肉やお魚のドリップ対策。古新聞紙と再利用ポリ袋



ゆむら商店

宮城県大崎市岩出山下川原10-2
Instagram @yumura_shouten



鳴子温泉もりたびの会 会員探訪記

MoriTabi's Member's Report

当会は、「もり」の資源を活用し、鳴子に新しい「たび」を提案する団体として2018年に設立されました。林業・飲食店・旅館・伝統工芸やクラフト作家など、約30の他業種が集まった団体です。今号から、会員さんを訪ね、鳴子温泉やもりたびの会への思いを取材していきます。

(有)千田清掃

今年から新たに会員となった千田清掃さんは、大崎市古川にある会社です。同じ市内とはいえ、鳴子温泉からは車で40分程かかります。清掃業や、廃食油リサイクルに取り組む会社ですが、地域づくりに力をいれ、鳴子温泉川渡地域の菜の花フェスティバルの運営に10年間携わるなど、鳴子とも縁の深い会社です。今回は、鳴子温泉もりたびの会の会員店舗から出た廃食油を持参し取材に訪れました。というのも、左図のようなバイオマスエネルギーの循環を、私たちの会員事業者間でも実現することを目指しているからです。実際に、持ち込んだ廃食油がどのようにBDF（バイオディーゼル燃料）になるのかを教えてもらいま



BDFも木質バイオマスも、大崎地域にある資源です！地域資源を自分たちで活かし、自分たちで使いたい！一緒に実現していきましょう！

ちょうど取材へ伺った時期は、千田清掃の社員さんたちが、廃線の危機が叫ばれるJR陸羽東線を利用し、鳴子温泉へ日帰り社員旅行に行かれたばかりでした。参加した社員には、JRや鳴子についての良い点や改善点をレポートしてもらい、大崎市等にフィードバックしたとのことでした。社員の福利厚生だけでなく地域の活性化にも結び付く企画を実施している社長の発想力や行動力に感銘を受けました。鳴子温泉もりたびの会も、新たな会員である千田清掃さんと連携し、循環の仕組みを実現したい！と強く感じる取材となりました。



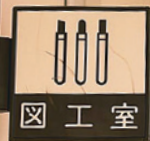
千田信良社長

会社の電力も全てBDFで賄っています！



木製品の 制作現場より

栗原市栗駒の旧小学校の場にできた新工場。校舎内、懐かしい雰囲気が残る図工室ではレーザー加工機を活用した様々な木製品が生まれています。今号はひとつの木製アイテムが完成するまでを追ってみます。



廊下側にあるガラスショーケースには、今までに製作してきた木製アイテムがズラリ。

STEP 0 構想



扱っているのは、杉の木をメインに桜や銀杏といった広葉樹。1つとして同じものではなく、木目や色味も様々な板から想像力を膨らませて季節のイベントや、あったらうれしい!をヒントに新しい商品の構想を練っています。イメージをデザインに起こしていくのは、本誌46号にも登場した製材(兼デザイナー) 小野寺さん。

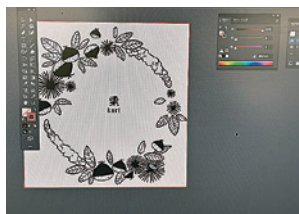
▼素朴な風合いの栗の木に、刻印加工が入ることでもう一気に華やかな印象に!

STEP 3 「形」を整える



加工機から出てきたアイテムたちを1点1点、点検しながら手触りを確認しつつ、手作業でのやすりがけを行っています。

STEP 1 イメージ



季節は「秋」。素朴で落ち着いた風合いの栗の木を生かした商品を製作する事に。カップを思わず置きたくなるような栗のフレーム。出来上がったデザインを基に、加工用のデータに編集をしていきます。イラストの配置や大きさなど、完成品をイメージしながらデータを作り上げる作業。全工程の中でも肝心な作業です。

STEP 4 「届ける」作業



こんな風に使いたいなと想像が膨らむ包装デザインを心がけています。(今後は脱プラ目標に包装袋も環境に優しいものを模索中。)

STEP 2 「形」にしてい



いよいよ編集したデータをレーザー機械に読み込みをさせて刻印加工をしていきます。黒い線が刻印、赤い線は配置など、線の色を変えることで時には板の状態からくり抜きなど、加工に変化を加えています。



◀試作を繰り返し、販売とならなかった商品(非売品)を今回プレゼントコーナーで提供中。「ふんわり」の感想とともにご応募ください。

図木鑑の

アカマツ (赤松)

Pinus densiflora



年も新たになりました。日本ではお飾りに松をあしらった人も多いのでは？昔から「樹齢が長く」「冬でも青々としている」ことから、「長寿」の縁起物として定着しています。「マツ」と一口に言っても、色々な種類があります。日本の林に生えるマツは、アカマツ、クロマツがポピュラーでしょうか。実はお飾りに使われるのは黒松がほとんどですが、山にはアカマツが多いものです。クロマツは海岸、アカマツは山という具合です。

そもそもマツは、明るくて貧栄養で乾燥した土地を好みます。太陽がサンサンと注ぐ荒野へ飛んでいつて林の先駆けとなり、林が熟成期に差し掛かると姿を消していくマツは、どちらかというと生長が早く、年輪の幅が広いものが多いので、私には「長寿」のイメージは少し違和感があります。ところがそれとは裏腹、伐るとどっしりと重く搬出が大変！樹皮がカサカサで貫禄？のある姿形も併せると長寿のイメージも何となく納得かもしれません。



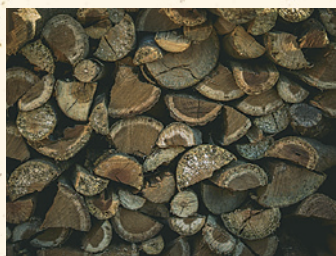
尾根や崖に生えます。(緑色がアカマツ)

そうは言っても、山に生えているアカマツは、水墨画や盆栽のようにウネウネ幹が曲がっているものが多いわけではなく、少しカーブするくらいの幹がズドンと通っている幹が多い印象です。樹皮が黒っぽく、松葉がイガイガツンツンしているクロマツに比べると、アカマツは葉は多少柔らかめで遠くから見るとエメラルドグリーンに見え樹皮が赤っぽくてよく目立ちます。山並みを遠くから見ると、尾根筋がふわふわでちゃんと明るい緑に見えるのは、アカマツ林です。クロマツが雄松と呼ばれるのに対し、雌松と呼ばれます。樹形を見たときの葉の着き方は、何やら長寿のおじさんの長い眉のように、「ハ」の字に柔らかにポツッとフサツと横へ水平に枝を広げるように見えてくる気がします。その形が末広がりで縁起良く、過酷に見える環境にも果敢に入って生命をつなぐマツ。その姿と生き様から縁起物と感ずるのは、私の新説でしょうか？今回は、樹木好きのきこりがマツとアカマツのイメージをご紹介します。

鳴子温泉にある
社会福祉法人鳴子こども園と
申します。

薪がとりもつ「縁」

鳴子こども園は新園舎建設を機に薪ストーブを導入しました。使用する薪の量は半端ではないので急遽薪棚を造り、大きな薪割り機も購入しました。今はまだ園舎建築の端材で何とかやっていますが、今後はどうなるんだろうと心配してたら、心配をよそに「うちに薪あるから取りに来て」とか「栗の木を伐採したから薪にどう」「解体現場出た廃材いる？」とか「河川敷の伐採木あるよ」など地域、職員家族、保護者、卒園児の親などいろいろな方からお声がけいただきました。しかも、皆さん口々に「必要な時はいつでも言ってみてね」と。灯油やガス、電気はお金さえ出せば、何の苦労なく、手も汚さず確かに便利です。でも便利さと引き換えに「つながり」がなくなります。薪は薪割り機があるものの、河川敷や山から木を運び、機械にかけられる大きさに切るまで手間も時間もかかります。でも、薪がぎっかけて皆さんから声をかけてもらうことで「つながり」が生まれ、「みなさんに守られているんだな」と子どもたちも職員も生きる力をもらえます。子どもたちも河原に散歩に行くと、焚き付けにもってこいの枝を拾ってきてくれます。子どもたちに「ありがとう、助かったよ」と言ったら「うん」と笑顔でうなずきます。子どもたちも自分が役に立ったことがうれしそうです。



funwari 児童文学

鳴子こども園職員おすすめの児童文学を紹介します



しんせつなともだち

作：方軼羣、訳：君島久子、画：村山知義 福音館書店
28ページ/20×27cm
定価 : 1,100円(税込)
初版年月日 : 1987年1月20日
ISBN : 978-4-8340-0132-7
シリーズ : こどものとも絵本

友達のために自分の食べものをわけてあげる、やさしい気持ちを伝える絵本です。
単純な繰り返しのお話ですが、読み終わった後ほんわか温かくなる冬おすすめの絵本です。

KURIMOKU

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市鶯沢島巡 44-7



トレーサビリティの確かな丸太の製材と建築用材、木材のカスケード利用（木材の副産物利用・残材利用）により生まれた家具・木工品、木質ペレットなど森林資源活用の中で作られた商品の提案と販売を行っています。

社会福祉法人 鳴子こども園



☎ 0229-83-2153

〒989-6825 宮城県大崎市鳴子温泉字上鳴子 19-1
<https://narukodomoen.jp/>

私たちは鳴子温泉地域で『自然の中で生きる力』を目標に教育保育を行っている認定こども園です。鳴子は自然、特に森のめぐみに育まれてきた素晴らしいところです。そんな素敵なところに暮らしている子どもたちが『自然が大好き!』『鳴子に生まれてよかった』と感じ、生きる力が育まれることを願っています。

鳴子温泉もりたびの会

鳴子温泉字玉ノ木 70

<https://moritabi.org>

地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

〒981-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地 エコラの森内

<http://shinrin.org/><https://www.facebook.com/NPOSHINRIN/>

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりときこりの育成を実行中。



キーワードを「ふんわり」にして
集まったわたしたち。
業種もフィールドも違うからこそ、
ユニークでオンリーワンで、
おもしろいことができそうです。

ウェスタ

☎ 0228-25-4714

〒981-4254 宮城県加美郡加美町字北町三番 44-1

<https://woodenergy.co.jp>

木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、ペレットストーブ販売、熱供給を行っています!!

サスティナライフ 森の家

☎ 0120-317-618

〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

<https://www.sustainalife.co.jp/><https://www.facebook.com/sustainalife>

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



About Us

記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照下さい

S サスティナライフ森の家

N NPO 法人 しんりん

W ウェスタ

K KURIMOKU

M 鳴子温泉もりたびの会

G 社会福祉法人鳴子こども園

希望の番号・ご応募の方の住所とお名前（プレゼント送り先）を書いてメール（右のQRコード）か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えください。①ふんわりを読んだ感想（気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど）②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所

プレゼント
コーナー

1

KURIMOKU記事でご紹介した「栗の木」コースターと、天然木（杉or栗）×ドライフラワーのブローチ。カバンやストールなどのワンポイントにおすすめ◎
組み合わせの指定はできません。
【コースター1枚・ブローチ1個のセット/3名様】



2

ふんわりと同じ森林認証紙で作った
10x10x10cmの立方体メモ【3名様】

ふんわり 第47号

2024年1月17日 季刊（年4回発行）

ふんわり編集部

〒989-5333 宮城県栗原市栗駒片子沢山城54番 ☎0228-25-4697

info@timberworkgroup.com

点検で切り取りご希望の番号と感想をそえご応募ください。
2024年3月31日まで有効
応募券